

各国の裁判所ウェブサイト



—皆さんは裁判所のウェブサイトをご覧になったことはありますか？—



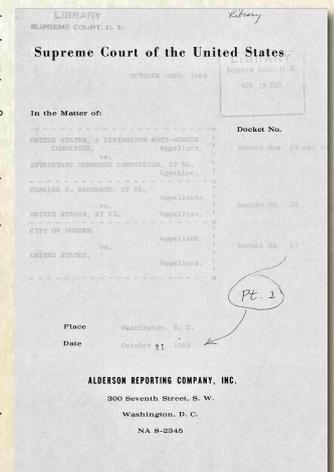
米国連邦最高裁判所

トップページは、最高裁判所の写真を背景に、シンプルな構成になっています。トップページのパターンが時間や季節で変わるので、様々な雰囲気を楽しむことができます。



口頭弁論の音声記録

最高裁で行われた口頭弁論の音声記録及び文字起こしが当日中にアップロードされます。1968年から2000年までの文字起こしは最高裁判所の図書館からスキャンされたものなので、当時の書き込みなども見ることができます。

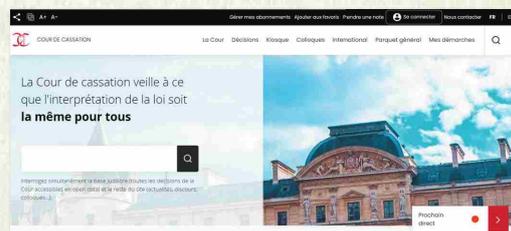


はきいん フランス破毀院

トップページでは、シンポジウムの様子をYouTubeでも発信しています。

また、ユーザーがアカウントを作成し、興味がある分野についてキーワード登録すれば、関連する記事が掲載されるたびにメールが届きます。

例えば、「国際」というキーワードを登録すると、外国司法機関との国際交流記事が頻繁に通知され、積極的な国際交流の様子を知ることができます。



破毀院長と日本の大谷直人最高裁判所長官との会談の様子も掲載されました。

各国の裁判所は、ウェブサイトを充実させており、日本の最高裁判所ウェブサイトと同じように、判決文や開廷表を公開し、裁判官の紹介をするなど、より身近に司法を感じてもらえるような色々な工夫を凝らしています。

シンプルな構成の国から、写真・動画・SNSを多用する国まであり、それぞれのお国柄が出ています。ウェブサイトを見るだけでもちょっとした旅行気分が味わえるかもしれません。



英国最高裁判所

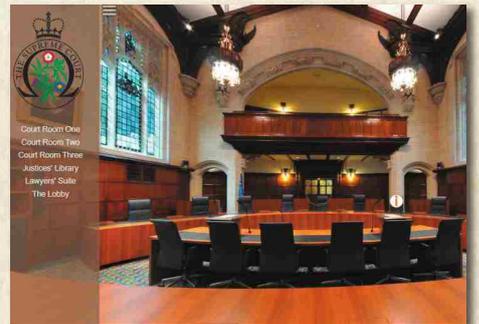
トップページには多くの写真が掲載されています。最高裁のロビーを結婚式など特別な催しのために借りることができ、最高裁のウェブページから予約もできます。また、最高裁の建物の中には絵画コレクションやカフェもあります。

司法年度開始
セレモニーに
おける裁判官
の正装です。
日本の法服と
は違いますね。



360度バーチャルツアー

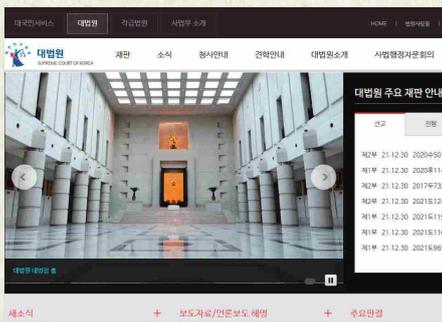
コロナ下で見学が難しくなったことから、360度バーチャルツアーが開始されました。最高裁を意味する紋章はイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドそれぞれを象徴する花の組み合わせからでき、カーペットやカーテンにいたるまでデザインされています。



韓国最高裁判所

インターフェースは、ご紹介する4か国の中で、もっとも日本のものに似ています。法教育に力が入れられており、小学生向けから大人を対象にしたものまであります。

小中高生対象の司法研修プログラムも始まりました。



量刑体験プログラム「あなたが裁判官」

実際の刑事事件をもとにドラマ仕立てで模擬事例が組み立てられています。参加者は裁判官の役割を担い、検察官、弁護人、被告人の話を聞いて、裁判を進め、その後、量刑やその量刑を選択した理由を選択肢の中から選択します。他の人がどの量刑を選択したかについて集計結果も表示されます。

